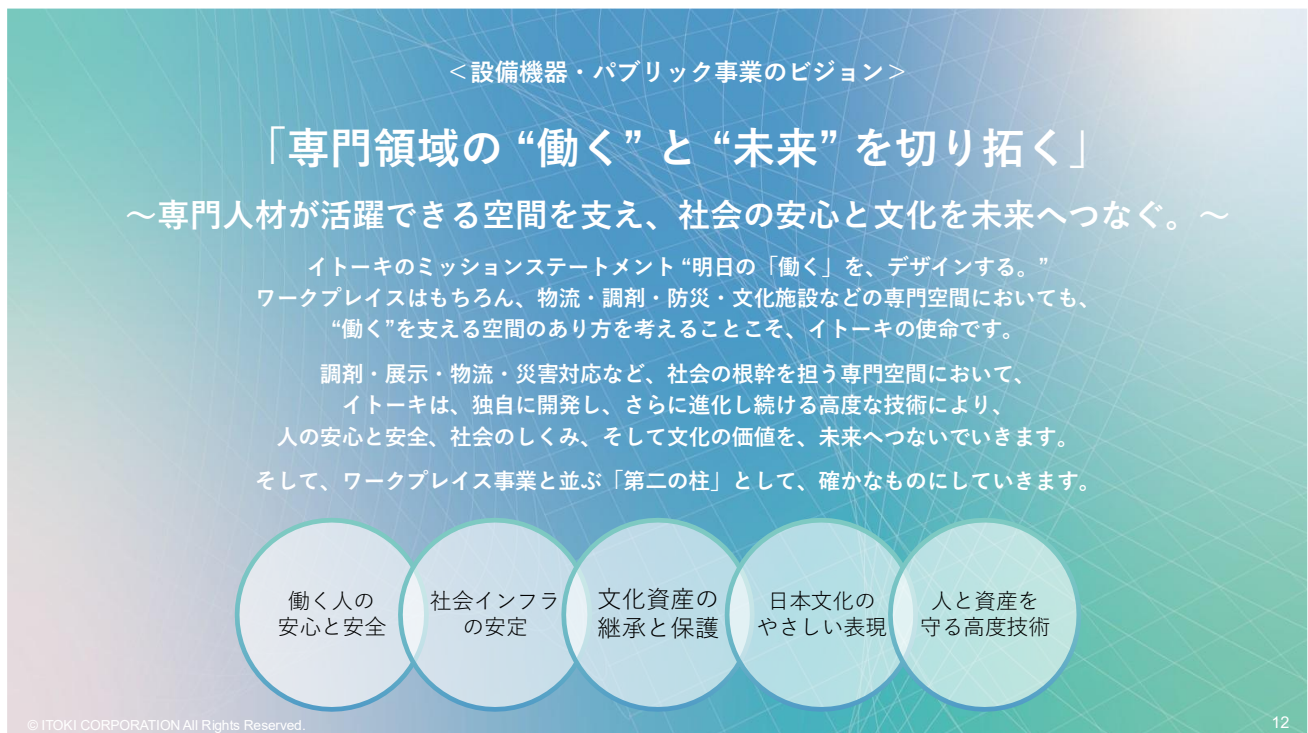


イトーキ、設備機器・パブリック事業の新ビジョン発表

- 専門領域の“働く”を支援、物流・調剤・文化施設など多様な空間に対応、
社会課題に応えるソリューションを強化 -

株式会社イトーキ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：湊宏司）は、設備機器・パブリック事業における新たなビジョンを発表しました。

本ビジョンでは、物流、調剤、災害対応、文化施設など、多様な専門領域における“働く”を設備の力で支えることを軸に、社会課題の解決と価値創出の両立をめざしています。当該事業は、ワークプレイス事業に並ぶ“第二の柱”としての位置づけを明確化し、持続可能な社会インフラの構築に向けた取り組みをさらに加速していきます。近年、専門領域を取り巻く社会課題が複雑化する中、その解決に向けた方向性を明文化したものです。



＜設備機器・パブリック事業のビジョン＞

「専門領域の“働く”と“未来”を切り拓く」

～専門人材が活躍できる空間を支え、社会の安心と文化を未来へつなぐ。～

イトーキのミッションステートメント“明日の「働く」を、デザインする。”
ワークプレイスはもちろん、物流・調剤・防災・文化施設などの専門空間においても、
“働く”を支える空間のあり方を考えることこそ、イトーキの使命です。

調剤・展示・物流・災害対応など、社会の根幹を担う専門空間において、
イトーキは、独自に開発し、さらに進化し続ける高度な技術により、
人の安心と安全、社会のしくみ、そして文化の価値を、未来へつないでいきます。
そして、ワークプレイス事業と並ぶ「第二の柱」として、確かなものにしていきます。

働く人の
安心と安全

社会インフラ
の安定

文化資産の
継承と保護

日本文化の
やさしい表現

人と資産を
守る高度技術

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved. 12

■「専門領域の“働く”と“未来”を切り拓く」新ビジョンの位置づけ

本ビジョンには、「人が安心して力を発揮できる空間とは何か」という問いへの、当社なりの答えが込められています。設備とは単なる構造物ではなく、社会や文化、働く人を支える“しくみ”そのものである——そう捉える当社の姿勢を、明文化したものです。

人の安心と安全、社会インフラの安定、文化資産の継承といった価値を、現場に根ざした設備ソリューションで静かに支えていく。これまでも多様な専門領域と向き合ってきた当社だからこそできる貢献を、今後さらに深めてまいります。

■社会背景 | 多様化する現場ニーズ、“安心して働ける環境”の再構築へ

医療、物流、文化、研究などの専門施設では、人材確保の難しさや業務の高度化、災害対応や来訪者対応の複雑化など、課題が複層的に広がっています。

なかでも業務の属人化や負担の偏在が進みやすく、効率と安全を両立できる環境整備が求められています。自然災害への備えとして物理的な安全性の強化も重要です。案内設備への多言語対応や視認性の向上も期待されており、こうしたニーズに応える設備が、現場の安心と持続性を支える土台となります。

専門性が求められる現場で、いま起きている4つのリスク

“安心して働ける環境”が、いま揺らいでいる。——現場の負担が静かに、しかし確実に増している。
各施設では、人手不足、判断ミスへの懸念、災害対応、来訪者対応など
「人」や「現場」の負荷を高める要素が複雑に絡み合っています。

人手不足の深刻化	医療、物流、研究などの専門施設では、高度な知識や経験を持つ人材の確保が困難になっており、現場の負担集中と業務品質の維持が課題となっている。
ヒューマンエラーによる業務リスク	取扱ミス・判断ミスが重大事故や社会的信頼の喪失に直結する環境において、人間依存の業務設計からの脱却が急務となっている。
災害・紛争リスクの増大	自然災害や社会不安への備えが必須となる中、公共・医療・文化施設の物理的安全性と迅速な封鎖・避難機能が問われている。
来訪者対応の複雑化	円安による訪日外国人（インバウンド）の増加や多様な来場者への対応が求められる中で、文化施設や公共空間では“伝える・案内する”インフラ整備の重要性が高まっている。

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved. 9

■提供価値 | “見えない負担”に応える、イトーキの設備ソリューション

当社では、複雑化する現場の課題に対し、「設備の力で人を支える」という視点から、領域横断的なソリューションを展開しています。

自動化や作業の定型化による省人化によって、限られた人員でも現場を安定的に運用できるしくみを構築。災害時への備えとしては、防爆・気密・水密などを備えた高耐久設備による空間設計で、人命と資産の保護に寄与しています。また、システム制御や UI 設計を通じたヒューマンエラーの抑制、多言語対応と演出性を兼ね備えた案内設備の導入により、文化・公共空間においても“伝える力”と“安心”の両立を実現。現場ごとに異なるニーズに応じた、安全で快適な環境づくりを支えています。

設備機器・パブリック事業の提供価値

“安心して働ける環境”を、設備から取り戻す。——見えない負担を見抜き、静かに仕組みで支えていく。
各施設の現場で増え続ける負荷に対して、イトーキは、自動化・防災・視認性・標準化といった設備の力で、
人が安心して力を発揮できる環境づくりを静かに、確実に支えていきます。

人手不足	→	自動化による省人化・効率化	作業の定型化・機器による搬送・管理によって、人材不足でも現場が回るしくみを提供。
ヒューマンエラー	→	設備による業務標準化・ミス防止	操作ミスや判断ミスのリスクを、システム制御や UI 設計で減らし、現場の「安心」を構築。
災害・紛争	→	高耐久・高封鎖性の設備設計	防爆・気密・水密などの機能で、万が一の時も人と資産を守る空間づくりを実現。
インバウンド対応	→	表示・案内装置による多言語対応・演出性	多様な来場者に向けて、直感的・美しく伝わる空間演出で、文化と安全を両立。

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved. 10

■今後の展望 | 持続可能な社会に向けて、“第二の柱”として成長を加速

当社は『明日の「働く」を、デザインする。』というミッションのもと、オフィス空間に限らず、専門性の高い施設における“働く”を支える取り組みも展開してきました。なかでも、医療・物流・研究・文化施設などを対象とした設備機器・パブリック事業は、すでに当社の中核を担う領域の一つとなっています。

今後はこの分野を、ワークプレイス事業に並ぶ“第二の柱”として再定義し、戦略的に位置づけながら、人と社会の持続可能性に貢献するソリューションの進化と展開を一層加速してまいります。

<関連リンク（設備機器・パブリック事業で提供する代表的な製品）>

・イトーキ、薬剤ピッキング業務の過誤防止と薬剤師の人手不足解消に貢献する調剤薬局向け薬剤自動ピッキングシステム「DAP with MediMonitor」を 2025 年 4 月より発売

https://www.itoki.jp/company/news/2024/1023_dap/

・イトーキ、薬剤ピッキング業務の過誤防止と薬剤師の人手不足解消に貢献する調剤薬局向け薬剤ピッキングシステムに LED 表示キャビネットタイプを追加ラインアップ

https://www.itoki.jp/company/news/2024/2412_LED/

・イトーキ、空間も美術工芸品も美しく演出する新型展示ケース「Artivista（アルティビスタ）」を開発し、東京国立博物館に納入

https://www.itoki.jp/company/news/2023/2308_artivista/

・イトーキ、防災・防衛等を想定した、手動で開閉可能な約 1400kg の地下シェルター向け特殊扉を開発し、日本核シェルター協会モデルルームに設置

https://www.itoki.jp/company/news/2024/0930_shelter/

・工場・物流施設向けソリューション（システムストリーマー SAS など）

<https://www.itoki.jp/solution/field/distribution/>

【イトーキの設備機器事業について】

株式会社イトーキは 1890 年創業。ミッションステートメントに『明日の「働く」を、デザインする。』を掲げ、オフィス家具の製造販売、オフィス空間デザイン、働き方コンサルティング、オフィスデータ分析サービスのほか、在宅ワークや家庭学習用家具、公共施設や物流施設向け機器など、“Tech×Design based on PEOPLE”を強みに、さまざまな「空間」「環境」「場」づくりをサポートしています。設備機器事業では、安全性と機能性が求められる工場・物流設備（SAS）をはじめ、高い技術と信頼性を要する特殊扉、生体認証や IC カードによる情報セキュリティシステムなど、社会ニーズに的確に応えるシステム設備を幅広く提供しています。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社イトーキ コーポレートコミュニケーション統括部広報課 松尾

TEL : 03-6910-3910 MAIL : itk-pr@itoki.jp

【本件に関する IR のお問い合わせ先】

株式会社イトーキ コーポレートコミュニケーション統括部 IR・SR 部 木場

TEL : 03-6910-3910 MAIL : itk-ir@itoki.jp

以上